

# プロジェクト 評価 教訓を糧に

JICAは、国民の理解・支持を得つつ、より効果的・効率的な事業を実施していくために事業評価活動を拡充しています。このコーナーでは、事業評価の結果が事業の改善にどう活用されているか、具体的な事例を通して紹介します。



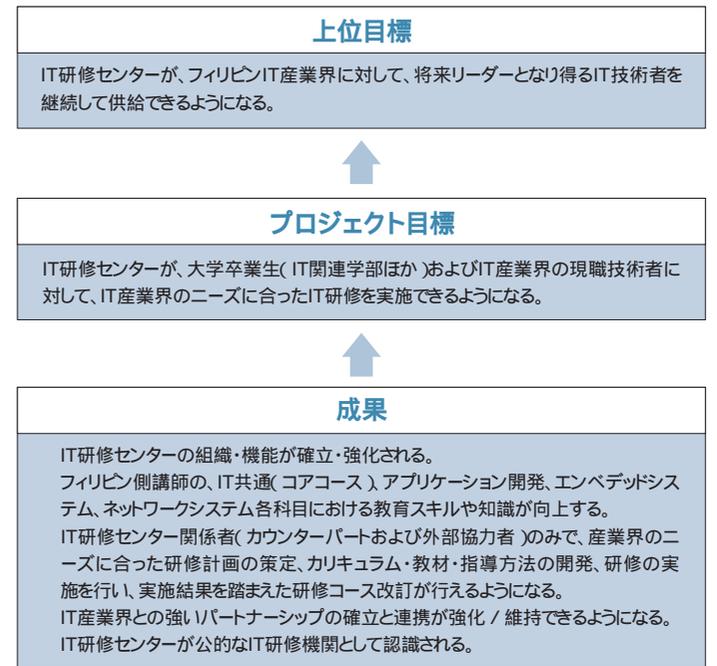
Philippines

## 問題解決は「あせらず、あなどらず、あきらめず」

- アジアのIT立国を目指すフィリピンは、産学連携によるIT産業振興を推進しているが、IT技術者のレベル向上が課題だ。
- JICAはIT産業界が求める質の高い技術者を育成するため、「IT人材育成プロジェクト」を実施している。昨年行われた中間評価後の取り組みを、合田 ごうだ ノゾム・チーフアドバイザーに聞いた。

### <フィリピンIT人材育成プロジェクト>

<http://ittc.up.edu.ph/thrd/index.html>



### IT人材の質的なギャップ

「IT人材育成プロジェクト」は、フィリピン大学（UP）デリリマン校に設置されたIT研修センターが産業界のニーズに合ったIT研修を実施できるようになることを目標に、2004年7月にスタートした。フィリピンでは、大学や専門学校などの教育機関から供給される人材

と、産業界から求められる人材像との間に質的なギャップが存在することが大きな問題となっている。教育機関はこのギャップに短時間で対応し、産業界のニーズを満たすことができるだけの基礎力・応用力を持った技術者を育成することが急がれている。プロジェクトでは、IT関連分野の学部卒業生や現職IT技術者を対象に適切なIT研修を実施するため、



2006年度フルタイムコースの卒業制作発表会で、1年間の学習の成果をプレゼンテーションする受講生。フルタイムコースでは、企業の即戦力となる人材を輩出するため、IT技術のみならず、年間を通じてITビジネススキルや日本語の研修も行われる

をあげる。合田さんはUPの財務管理を担当する教授に協力を依頼することを提案、センターがUPに掛け合い、なんとかスパーバイザーの形でかかわってもらえることになった。年2回、プロジェクトの戦略や運営について協議するセンターの合同運営委員会（センター、IT産業界、UP、関係省庁で構成）が、こ

### 産学連携の強化を

もう一つ、合田さんが、センターの自立発展性のために必要だと考えていることが、スタッフの拡充だ。産業界のニーズに基づいた研修のカリキュラムを作成できるスタッフとセンターの運営管理の要員が不十分だといふ。長期的に質の高い研修を実施していくためには、専任の講師・スタッフの雇用条件の改善が必

要と中間評価でも指摘されたが、そのための人件費を賄えないのが現状だ。プロジェクトとしては、センターの主要な寄付者・奨学金提供者である、フィリピンに進出している日系IT企業から、講師の派遣や雇用・奨学金の増加という形で協力を得るために、専門家を投入し、関係強化を図っている。今後は、フィリピン人スタッフのそうしたマーケティング・コミュニケーション能力を向上させていく。

プロジェクトでは、IT企業を主な対象とするニーズ調査を実施し、その結果を踏まえて具体的にギャップを埋められるカリキュラムに改善したいと考えている。プロジェクトの上位目標「年間400人の研修修了者の輩出」（評価指標上の記述）の達成を左右する施設の拡大も今後の課題だ。当初からフィリピン政府は日本の無償資金協力によるセンターの建設を要請しているが、現在、同国に対する無償資金協力は見合わせられている。センターはデリリマン校の建物の間借りしているが、それでは年間90人が限界で、プロジェクトの直接的なインパクトは限られる。終了まで残り1年となった現在、資金を引き込むための透明性の確保を含めた運営体制の強化と、代替となる研修施設の確保が必要だ。合田さんは「IT技術者の需要や、人材育成のニーズは極めて大きく、フィリピン最高学府のUPがそのニーズに添えていくことを使命と考えているのであれば、自分たちの力で活路を見いだすことは可能だ」とフィリピンの自助努力を期待している。

プロジェクトは無償資金協力を先行して開始され、その上位目標はセンターの新設を見越して設定された。しかし、無償資金協力は、日本からの資金で調達する物品などへの付加価値税（VAT）の未還付を理由に2003年より新規供与が中断されていた。なお、還付完了が間近となったことから無償資金協力が近く再開される予定だが、IT研修センター建設の要請が進展するかどうかは未定（07年5月現在）。



2007年4月27日、06年度フルタイムコースの卒業式が開催された。カ口所長（中央）と合田さん（左）から卒業証書を授与される卒業生。06年度は56人が卒業。フィリピンIT産業界での活躍が期待される